

学校だより

朝日丘

氷見市立朝日丘小学校

氷見市朝日丘3番1号

TEL:74-8422

FAX:74-8423

令和8年10月26日

心に響く感動の舞台 ～学習発表会～

10月17日（土）、盛大に学習発表会を開催することができました。お忙しい中、多くの保護者の皆様、地域の皆様にご来校いただき、温かいご声援を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

どの学年の発表も、練習の成果を十分に発揮し、観客の皆様の心に深く響く素晴らしいステージとなりました。舞台の上の生き生きとした表情や、友達と力を合わせて一つのものを創り上げた経験は、子供たちにとってかけがえのない宝物になったことでしょう。

ご家庭での温かい励ましや、当日までのご協力に心より感謝申し上げます。今回の学びをこれからの学校生活にもつなげてまいりますので、引き続き温かいご支援をよろしくお願いいたします。



＜「開会の言葉」を述べる児童＞

親学び「イライラしてしまう・・・」

10月22日（木）には、来年度入学予定児童及び保護者の方々が「就学時健康診断」のために来校しました。保護者の皆さんは、前市P連会長の笠島一之さんを講師に、「親学び」を行いました。テーマは、「ついイライラしてしまうお母さん」です。グループで、イライラする場面や、そのときの気分転換の方法等について語り合いました。

気持ちを穏やかに過ごせるように心がけたいものですね。



＜講師の笠島さん＞

＜ホームページ「朝日丘小学校の宝物」より＞



令和8年9月16日 始業前

「ふれあい」

かわいいカナヘビの赤ちゃんと触れ合っています。自然に親しむことは、理科のスタート地点です。やさしい気持ちも育ちますね。



令和8年9月17日 協力授業

「イメージ」

学校医の協力授業。椅子に座っている人が「歯」、持ち上げている人が「歯茎」を表しています。歯茎の大切さがイメージできますね。



令和8年9月18日 昼休み

「超背伸び」

STEAMミュージアムにある箱を限界まで高く積み上げています。手を伸ばした高さよりも高くなっていますね。すごい背伸びです。



令和8年9月18日 理科

「楽に抜くには」

地面に打ち付けられた杭を力任せに抜いてみました。もっと楽な力で抜くにはどうしたらよいでしょうか。みんなで考えていきましょう。



令和8年9月25日 始業前

「発見力」

アサガオの種取り。友達に「ここにもあるよ」と教えてあげています。「こんなにたくさん取れたよ」と大喜びでした。



令和8年9月25日 体育科

「楽しくRUN」

体育科での準備運動としてのランニング。楽しく、そして一生懸命走っていますね。楽しく取り組んでいるところが、すばらしいです。



令和8年9月29日 音楽科

「伝わる表情」

「学校坂道」を、大きな口を開けて真剣に歌っています。一人一人が頑張っていることが、子どもたちの表情から伝わってきます。



令和8年9月29日 図画工作科

「選ぶ楽しさ」

布の「形」「色」「組み合わせ」を考えて作品を作ります。たくさん布から好きな布を選ぶのが楽しいですね。発想が広がることでしょう。



令和8年9月30日 理科

「比較力」

朝の月を観察しています。夜の月と比べて、「色」「形」「見える方角」等が違っていることに気が付いた人もいますね。



令和8年10月2日 国語科

「考える雰囲気」

国語科の問題を考える場面。「友達と相談」「一人で考える」どちらも大切ですね。考えようという雰囲気を作ることができています。



令和8年10月5日 休み時間

「盛り上げ力」

休み時間に学習発表会の劇中で披露する獅子舞の練習をしています。天狗、獅子頭、太鼓を、多くの友達が盛り上げてくれています。



令和8年10月5日 図画工作科

「発想を広げる」

1枚の写真から広がる世界に取り組んでいます。写真からつながりを想像しながら描いています。楽しく発想できたことでしょう。



令和8年10月16日 休み時間

「逆さ感覚」

鉄棒に逆さまにぶら下がっています。ジャンケンをしている友達もいますね。「逆さ感覚」を身に付けることはとても大切なことです。



令和8年10月16日 劇の小道具作り

「手作りのよさ」

学習発表会の劇で使う小道具を、グループごとに相談しながら、工夫して作っていました。手作りのよさを感じます。



令和8年10月20日 理科

「熱視線」

丸底フラスコに入れた水が温まっていく様子や温度の変化を、しっかりと観察しています。強い関心をもって観察することが分かります。



令和8年10月20日 学習発表会

「回数を増やす」

「What can you do?」「I can～」という会話を行っていました。たくさんの友達と会話することが大切です。